

# ふくだいプレス

2010  
October  
第3号



保健管理センターから

## 保健管理センター利用のススメ 3

### 今冬のインフルエンザ対策

保健管理センター 李鍾大

#### 基本的な予防で

この冬を乗り越えよう！

今年もインフルエンザが流行するのでは？という不安な季節になってきましたので、予防対策をしっかりして過ごしましょう。去年とは違い、今年はワクチンが十分に用意されているので、予防としてワクチンを打ちましょう。そして流行時にはなるべく人ごみを避け、外に出るときにはマスクをして、帰宅時には忘れずに手洗い・うがいをしましょう。インフルエンザにかかるると発熱し、のどや節々が痛くなったり、頭が痛くなったりします。症状に応じて医療機関を訪れるほか、不要不急の外出を避けましょう。また「咳エチケット」を守りましょう。

#### 李先生から一言



インフルエンザは人から人へ感染します。流行期には自分自身が媒体となることも想定して、注意深く行動しましょう。熱が少し下がったから、症状が軽くなったからといって外出しがちですが、お医者さんの許可がでてから行動するのがエチケットです。

#### 利用時間について

文京キャンパス ▶ 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-27-8513

相談内容	相談日	受付時間
健康相談 (内科医師)	月曜日～金曜日	8:30～17:00 (予約制)
健康相談 (精神科医師)	第1・3月曜日	10:00～11:00 (予約制)
健康相談 (婦人科医師)	第4木曜日	15:00～17:00 (予約制)
カウンセリング (臨床心理士)	月曜日～金曜日	8:30～17:00 (予約制)
一般相談 (看護師・保健師)	月曜日～金曜日	8:30～17:00

松岡キャンパス ▶ 相談の予約は、事務室へお願いします。TEL.0776-61-8575

相談内容	相談日	受付時間
健康相談 (内科医師)	第1・2・3金曜日	15:00～17:00 (予約制)
健康相談 (整形外科医師)	第2・4火曜日	16:00～17:00 (予約制)
健康相談 (産婦人科医師)	第1・3水曜日	16:00～17:00 (予約制)
健康相談 (精神科医師)	第1・3水曜日	17:00～18:00 (予約制)
カウンセリング (臨床心理士)	月曜日～金曜日	9:30～17:00 (予約制)
一般相談 (看護師・保健師)	月曜日～金曜日	9:00～17:00

#### 大人の麻疹

毎年、麻疹について抗体や予防接種歴、罹患歴に関するアンケートをお願いしていますが、学生の関心が十分でなく、回収率が極めて低いのが現状です。麻疹は小さな子どもだけではなく、成人の間でも流行っています。成人の場合は子供よりも重症化することが多く、高熱やひどい咳のほか、肺炎や肝機能障害を引き起こして、1週間近くもの入院が必要になったりすることもあります。子供は完全に回復するまで2週間弱かかることとされていますが、成人の場合は病状によってそれ以上の日数がかかることもあります。もう小さい頃にワクチン接種したから大丈夫、と安心せずに成人の麻疹についてもよく知っておく必要があります。また、麻疹が撲滅されたわけではないということも自覚して自分は麻疹ウイルスに対して抗体を持っているのかを理解してほしいです。自分の体は自分で把握・管理し、向き合いたいです！

## 編集後記

第3号特集では、様々なマナビスタイルを紹介する中で、福井大学を拠点に、個々の情熱と意欲を実現させている多くの学生さんに出会いました。すでに、次なる挑戦を語ってくれる学生さんもおいて、みんなキラキラしていました。このキラメキこそが、大学のエネルギーなんですよ。学部や学年が違うとすぐそばで勉強していても知り合えないことがあります。ふくだいプレスがあなたの隣の素敵な仲間を増やすきっかけになればと思っています。学生時代の出会いは意外に続いていくものです。紹介された学生さんと話してみるのも、マナビの一步になるでしょう。失敗を恐れず、トライ！の精神。未来を生き抜く力をつけてほしい…そんな願いを込めて。

#### 実は企画も募集中★

「サークル活動、告知したい」「新しい企画コーナー考えた」「ゼミでおもしろいことやってるよ」などなど、お気軽にメールください。QRコードからお願いします。



#### ふくだいプレス 第3号

発行日/平成22年10月  
発行者/福井大学広報センター  
広報紙編集専門部会

## 豆知識

### ダイガクノコトバ

#### 第3回「キャリアデザイン」

「キャリア」(Career)には、経歴もしくは専門的職業、「デザイン」(Design)には設計の意味があります。英語にはキャリアデザインという単語はなく、Career + Designの別々の単語を組み合わせてきた和製英語です。つまり、自分の人生において、どのように経歴を積み上げていくのかを設計することです。就職活動を始めるこの言葉をよく耳にすると思います。中央教育審議会では、小学校から、キャリア教育の審議が進んでおり、就職活動を始める時だけでなく、早い段階でキャリアデザインをすることが大切だといわれています。まずは自分を知ることから始め、自分の価値観や興味、能力、経験などを振り返り自己分析をします。次に自分が学んだことや経験したことをもとに、どのような職業が向いているのかを考え、その職業に就くためにはどういう準備や資格が必要かなど「職業観」を確立し、将来へのビジョンを形づくっていきます。しかし、社会や家庭環境の変化によって、変わる場合もあります。その時は、また修正を加えながらキャリアデザインを見直していければいいのです。大学入学後から、大学生活の中で習得できること、大学の外で学べることを意識して、キャリアデザインを行っていくとさまざまな経験ができ、広い視野をもつことができるのではないのでしょうか。あなたのキャリアデザイン、できていますか。

#### 【特集】

## マナビフィールド 見つけよう!

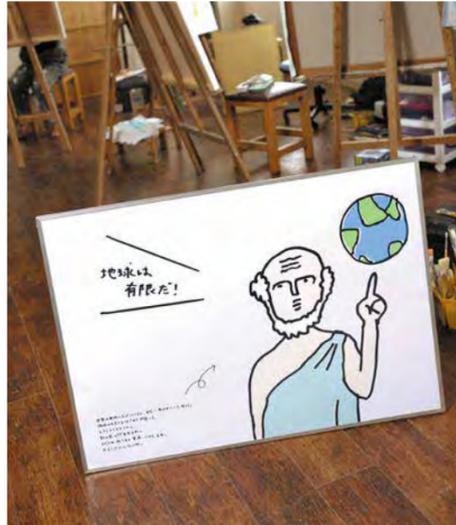
【がんばる学生を紹介 FACE】

### 祝!デザインコンクール グランプリ受賞

川井優美絵さん×吉村遼さん 対談

【がんばれ、就活!!】

### OB・OG参加による業界研究会 企業訪問



CONTENTS

特集  
マナぶフィールド広げよう! 2

和而不同 私の学びについて 6

がんばる学生を紹介 FACE 8

FULL SHOT 研究者紹介 10

がんばれ、就活! 12

Futurist~未来人~ 14

Fu's Report 15

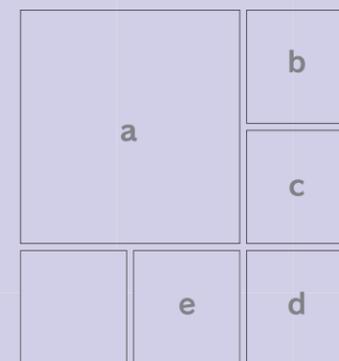
Fu's Voice 15

保健管理センター利用のススメ 16

豆知識 16

表紙解説

今年7月、環境や世界平和をテーマに開催された第36回福井県デザインコンクールにおいて、教育地域科学部芸術・保健体育教育コースの学生、教育学研究科の大学院生あわせて5名が入賞しました。学生たちは日々創作活動や研究に打ち込んでいます。



- a. [earth = balance ball]  
川井優美絵(4年) グランプリ
- b. 「ご利用は計画的に。」  
中村夏樹(4年) FBC福井放送賞
- c. 「内なる叫び」  
明城千佳子(大学院教育学研究科1年)  
福井県デザイナー協会奨励賞
- d. 「晴れの日の、憂鬱。」  
柳原麻理子(大学院教育学研究科1年)  
福井テレビ賞
- e. 「エラさんの心配事」  
吉村 遼(4年) 福井県デザイナー協会賞

川井さんと吉村さんの対談を掲載しています。  
ご覧ください → [FACE] P.8

# マナぶフィールド 広げよう!

秋といえば、スポーツや読書もありますが、今回はチャレンジのお話です!

そのヒントを教えてくださいるのは、留学して異文化を体験したり、専門知識を学んだり、課外活動でアイデアや夢をカタチにした学生さんたち。また、身近なあの人の意外な趣味も紹介します。

五感をフルに使って、磨いて、考えて、  
あなただけの『マナぶフィールド』を広げましょう!



## 2010 Korean Summer Sessionに参加 (2010.8.9~8.22)



←チマチョゴリ体験 ↑キムチづくり

## 米・クレムソン大学に交換留学中(2010.8~)

**自立を目指して**  
将来、英語教員を目指しているため、自分の英語力を伸ばすため留学中です。参加資格にはTOEFLスコアが必要で、特にリスニング中心に勉強しました。留学資金は高校生の頃から貯めていました。

クレムソン大学では、教育学を中心に、アメリカの先生の授業作りや生徒との接し方も学びたいです。今までは留学準備のために部活動をあきらめて、ゼミの勉強やバイトばかりだったので、留学中は、日本では学べないこと、体験できなかったことに挑戦したいです。自立を目指し、日本人の良さを残しながらアメリカ人の良さを吸収して、人間的に大きく成長していきたいです。

在学学生のみならず、留学は準備も含め、大変なこともあります。行かないければよかったと思うことは絶対にないので、何事にもチャレンジして頑張ってください!

## 教育地域科学部 特別聴講学生(2010.4~2011.3)



留学生歓迎会 伝言ゲーム

## 米・フィンドレー大学に留学中(2010.8~)

**学びを福井に還元したい**  
福井県奨学生としてフィンドレー大学に留学中です。英語の教師を志す私にとって、教育学部があるフィンドレー大学はとても魅力的です。講義外で地域の小・中学校で授業を行う機会もあります。

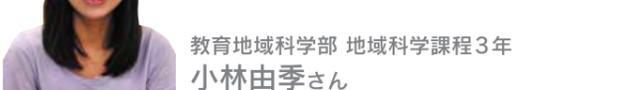
多くの人と出会い、いろいろな価値観や考えに触れて自分の視野を広げたいです。何に対しても、積極的に取り組み、1つでも多く学びたいです。留学中、困難なこともあると思いますが、自分を成長させるよい機会だと捉え、向上心と感謝の気持ちで生活したいと思います。

帰国後は、「福井県で英語科の教員になる」という長年の夢を叶え、教師として、福井県の子供たちに自分の学びを伝えていけるよう頑張ります。

**韓国学生とのふれあいにマナぶ**  
今まで海外に行ったことがなかったのに、異文化を学ぶいい機会だと思いで参加しました。福井大学からは5人の参加で、全国の大学から参加者が集まり、総勢39人で韓国・東亜大学で韓国語、韓国文化について学びました。

現地の学生ボランティアの方が親切で、常に活動に同行して、韓国の文化や生活習慣などを教えてくれました。また、同世代ということで、お互いのことを話しやすかったです。礼儀正しく、儒教の影響があると感じる部分も多かったです。

現地では新しい発見が多く、親元を離れての海外生活で自立できたと感じることもありました。また、他大学や海外の友達と関わることは心強く、友達関係を大事にしていきたいです。



教育地域科学部 地域科学課程3年 小林由季さん



ピンクの浴衣が森田さん

教育地域科学部 学校教育課程 4年 森田歩さん

**留学生と大いに語ろう!**  
在籍中の西安外国語大学では日本語を専攻しているので、実際に日本で学びたいという強い気持ちから、今年4月に福井大学に来ました。日本での生活は不安もありましたが、福井の人々はやさしく、外国人として特別にみられることもないので、とてもよい生活環境です。

西安外国語大学では、学生会の会長を務め、ストリートダンスのサークルに所属していました。留学中には日本文化にふれながら、多くの日本人学生と共に様々な活動に参加したいです。

日本の学生は中国の学生と比べると個人的な空間を好む傾向にあります。福井大学の学生さん、まわりにいる留学生と積極的に交流して、身近に異文化を体験してください。



教育地域科学部 学校教育課程 4年 山本由貴さん



平成22年度工学部・工学研究科  
「スプリングプログラム in 上海」に参加  
(2010.3.7~2010.3.21)



上海理工大学前で

何事も  
ポジティブスタイルで

スプリングプログラムでは、上海理工大学の講義をとおして中国語や中国文化を学び、地元の国際企業を訪問してアジア経済について知識を深めることができました。講義では、学生が発表することが多く、先生にもよく意見を求められ、学生が積極的に参加する講義スタイルでした。

講義中や学生との交流で英語を使うことが多かったのですが、さらに英語に力を入れたいと思いました。

これからは何に対しても「前向きに」「プラスに」考え、積極的に過ごしていこうと思っています。



大学院工学研究科機械工学専攻  
博士前期課程1年 伊藤晃さん



フィンランド・ヘルシンキ大学に交換留学

自分の気持ちを大事に  
留学を考えていたものの、大学生活の忙しさでそんな気持ちを忘れていた頃に、IFMSA(全国医学生連盟)の交換留学制度を知り、一念発起、昨年夏1ヵ月半フィンランドに行きました。大病院の移植医療チームに入り、主に肝臓や腎臓の移植手術を見学しました。日本人がいない環境で、楽しい事も辛い事も経験し、自分を見つめるいい機会となりました。中でもかけがえのない友人ができた事は私の財産です。

医師は病気を治すのが一番の仕事ですが、単に医学の知識だけでは対応しきれない部分が必要だと感じました。今後も様々な場面で多くの方と接し、日々成長していきたいと思っています。

漠然と思っていた事でも、それが何かにつながっているかもしれない。その時感じる自分の気持ちを大事にして、やりたいと思ったらすぐ行動に移してほしいと思います。



フィンランドの風景



友人たちと楽しいひととき



医学部医学科4年  
前田亜里紗さん

海外経験を人生に生かして



学生サービス課留学生係  
木原由貴さん

私は留学で得られるものが3つあると思います。まず一つ目は、知識。現地に行くことで実生活や授業・実習をとおして、その国の文化、生活習慣、言葉、さらに専門的な知識を学ぶことができます。二つ目は、能力。様々な文化背景を持つ人々と話したり、授業を受けたり、仕事をしたりする中で、「コミュニケーション能力が身につきます。また、新しい土地、異文化の中で生きていく力や苦難を乗り越える力が養われます。三つ目は、「意識・気づき」です。日常とは違う場所に身を置くことで、「自分」を見つめ直すことができ、自分自身に対する意識が変わると思います。また、あらゆる価値観やモノの見方に気付くことも大きな収穫です。

私の留学体験

私は、福井大学在学中に休学して、1年間カナダ・モントリオールへ語学留学。その後、3年生の8月~12月に福井大学学術交流協定校であるアメリカ・クレムソン大学へ交換留学しました。その際、アメリカでは留学に携わる専門のスタッフが常駐していることを知り、社会人になってから、「国際教育」を学ぶため、アメリ

福井大学が提供する留学プログラム

- 学術交流協定校への交換留学
  - Clemson University (USA)
  - Findlay University (USA)
  - Rutgers University (USA)
  - 西安外国語大学 (中国)
  - Annamalai University (India)
- 長期休暇を利用した短期留学プログラム
  - 1) ドイツ ハンブルク大学 夏季語学研修 (1ヶ月・補助有り)
  - 2) 韓国 東亜大学校 Korean Summer Session (夏休み2週間・渡航費のみ負担)
  - 3) 工学部・工学研究科スプリングプログラムin上海 (春休み2週間・渡航費程度のみ負担)
  - 4) フランス リヨン繊維・化学技術院 (夏1ヶ月) International Summer School in France in Science and Engineering
  - 5) 韓国 嶺南大学校 (夏休み2週間・渡航費のみ負担)
  - 6) カナダ オカナガン大学 (春休み6週間・補助有り)



生協がおすすめする語学研修のご紹介

- 生協では「自分で組立てる語学研修」として、学びたい語学によって、一人ひとりに合わせた留学プランづくりをお手伝いしています。
- ①まずは滞在スタイルを選ぶ!  
「長期ステイ」or「短期ステイ」、「ホームステイ」or「寮」
- ②滞在先は?  
学びたい語学によっては滞在する国の選択肢も増えます。語学と併せて「どのような体験ができるか」ということも選ぶ基準のひとつとして考えましょう。
- ※航空券・出迎え付きプラン、オプションツアーなどもありますのでぜひお気軽にお問い合わせください



福井大学生協生活協同組合  
1階ショップ満天サポートカウンター  
お問合せ 電話0776-21-2903 (担当 渡辺)



2010年9月フィンランド訪問。オウル大学カヤニ・キャンパスで、オウル大学の教授と。

ニルスの学生版に  
チャレンジを



副学長  
(教育・学生担当)  
寺岡英男

代数学者で、民間の数学教育研究団体「数学教育協議会」のリーダーとして、日本の数学教育に貢献した故遠山啓さんは、学力を、「術・学・観」と分けて捉えるべきことを提案しました。だいたい前の話です。最近ではPISA調査などがきっかけで、学力と言うよりは、新たに捉えなおされた「リテラシー」のあり方が言われています。それと比べると古臭いと思われるかも知れませんが、短時間で計算ができることを中心に考えていた日本の学校数学にとっては、遠山さんの提案は大変に興味のあるものでした。

「術・学・観」とは、たとえば微積分を例にとると、微積分の計算ができるのが術、その意味がわかるのが学、力学的世界観が理解できるのが観となります。分数の計算はできるけれども、どうして分子と分母をひっくり返して掛けるのか。因数分解の計算はできても、なぜたすき掛けをするのか、その意味(つまりは学)を説明できる人は多くはないと思います。いかがでしょうか?

さて、話は変わって、「ニルスのふしぎな旅」の話は皆さんご存知だと思います。本を読んでもいなくとも、アニメで見ている人が多いかも知れませんが、魔法をかけたニルスが小人になって、ガチョウのモルテンに乗って、アッカ隊長率いるガンの群れと一緒にスウェーデンを旅する。ガンたちと空を飛び、訪れた先々で素晴らしい経験をし、少年へと成長していく旅の半年間。本は、スウェーデンの子どもたちに自国の地理が楽しく学べるようにと、地理の教科書として書かれた物語です。100年前、子どもたちにこんな教科書を用意したスウェーデンという国はなんと素敵です。

冒頭で述べた「術・学・観」に関わらせてニルスの学びと成長を考えてみると、この物語の「術」は、魔法にかけられ小人となったニルスが鳥の言葉を話せるようになったことです。この能力を使いながら動植物と豊かなコミュニケーションを交わし、学びます。「学」は、スウェーデンを一回りしながら、地質や歴史、文化を学んでいくことです。ちょうど100年前ですから、スウェーデンが工業化社会に入ろうとする時期。山奥の鉱山地帯に大きな製鉄所ができ、鉄道が敷かれていくさま。「丸太の中州」と呼ばれた首都のストックホルムが都市として発展していくさま。大都市ウプサラでは、学生同士の人間関係とかかわりの中で、ニルスは友達を裏切らない勇気を持つことの大切さを学んだら...

「観」についてはどうか。たとえば物語の最後の方で、ガンの群れは外国に旅の翼を伸ばす前、ニルスの実家に立ち寄り、ニルスはおそらくは隊列に戻らないだろうと予感したアッカ隊長が、ニルスにこう言います。「いいかね。おまえがわたしたちと一緒にいて学んだことがあるとすれば、人間はこの世に人間だけ暮らしているのではないということだろう。人間は広い土地を持つているのだから、自然の岩礁、浅瀬の湖、沼、湿地、未開の山、人里離れた森を、私たちのような貧しい生き物が安心して暮らせるように、少しくらい残してくれても良いと思うのだ。若いころから、わたしは追われ

ばかりだった。わたしのような者にも安心してすごせる場所が必要だということを知ってほしいのだよ」。持続可能な環境の問題は近年の大きな課題ですが、レイチェル・カーソンよりもずっと前に、ラベルレーヴは、この物語の中で警告を鳴らしているのです。

ニルスは、ガンの群れと一緒に旅の中で、少年として経験を広げ、世界を見ることが、たくましい少年へと成長していきます。同様に、学生の皆さんには、社会人、市民として自立した人間になっていくことが、大学の生活の中で求められています。授業はもちろんですが、サークルや留学など、いろいろな経験を積みながら、人と交わり、異文化にも触れ、自己形成をはかる機会がたくさんあります。そういう旅をぜひ学生時代に経験してほしいと思います。それを通して、自分自身の術・学・観を形成していった欲しいと思います。そして、大学としても、ニルスの学生版にチャレンジする学生の皆さんに刺激され、突き上げられながら、大学づくりに取り組んでいきたいと思っています。



編集作業

### フリーペーパー「are」事業部 編集長



工学部 知能システム工学科3年 木村将貴さん

フリーペーパー「are」は、フリーペーパー、イベント、ビジネスの3つの事業部に分かれています。私はフリーペーパー「are」事業部で編集長をしています。週1回メンバーで、会議・編集作業をして、年2回「are」を発行しています。首都圏の学生に比べ福井の学生はおとなしいので、学生の意識改革ができればと思います。また、福井の活性化にもつながります。活動をおして、先輩や会社の方々と話すことが多くなり、人脈が広がりました。学生時代には、講義やバイトだけでなく、課外活動にも積極的に参加して、いろいろな人と接してほしです。コミュニケーション力が付き、世界が広がると思います！

学生目線を生かして

マナビ 08

### 「学生発信！駅前プロデュースin FUKUI」を企画

学生発信！駅前プロデュース in FUKUI

大学生は福井に集まれー!! みんなで街活しよっぞー

みんなで福井駅前を散策して、駅前の活性化について話し合おう！

2010年10月24日(日)開催！  
会場/福井駅前 AOSSA 6階 研修室607  
開催時間/10:30-19:00

参加条件: 地域活性化に興味のある大学生・短大生  
申込方法: 本チラシの裏面をご記入ください  
※お申込み締切は9月20日(月)となります。

主催/福大EMP実行委員会  
後援/福井大学教育地域科学部附属 地域共生プロジェクトセンター

※本イベントは福井市都市戦略推進課の地域振興課 まちなかプロジェクトが主催です。

マナビ 09

教育地域科学部 地域科学課程3年 伊藤真弓さん(左) 富久尾典子さん(右)



自分への行動に責任をもつ

昨年奈良で開催された地域活性化イベントに参加したのをきっかけに、「学生発信！駅前プロデュースin FUKUI」を企画しました。イベントの開催にあたっては、準備段階から真剣に取り組む姿勢が必要で、何度も確認したのに、うまくいかないことがあります。充実した経験ができていると思います。この活動をおして、自分の行動に責任を持つことや礼儀の大切さなどを学びました。今までは、積極的ではなかったのですが、仲間のやりたいという声にも後押しされて、今回挑戦しました。その中で自信も少しずつついてきました。みなさんもやりたいと思ったことは、仲間を見つけて実行してみることをおススメします。

### 現場で培うノウハウ



医学部看護学科3年 石本龍太郎さん

附属病院で看護アルバイトをしています。夕方日勤の看護師さんが仕事を終え、人数が少なくなる時間にお手伝いしています。私は、精神科で食事介助が必要な患者さんの介助準備や後片付けを担当しています。看護学生として日ごろの授業では知ることのできない実際の現場を体験できる貴重な場です。患者さんに笑顔で「ありがとう」と言ってもらえるとうれしくて、やりがいもあります。看護の現場では思いもよらないことがたくさんあると思いますので、なるべく多くの経験を積みみたいと考えています。ほかのアルバイトもしていますが、それぞれが仲間ができて楽しいです。全く別分野のことでもきつと何かの役に立つと思います。

### 和而不同

### 学長メッセージ

### 私の学びについて

先回のメッセージでは、医学部の専門に移ってからは生理学教室・病理学教室に通って先生方の研究の手伝いをさせて頂きながら、実践的な医学を学んだ事を書きました。しかし、入学してからの2年間は所謂教養で外国語を含む人文科学、社会科学、自然科学の一般教養科目と体育の授業で大学生としての実感を楽しまました。外国語は英語とドイツ語で、特にドイツ語は週4コマありましたが、文法の他にエッセイや小説もあり、英語のシェイクスピアやラテン語とともに異文化を楽しむことができました。倫理学・社会学・人類学他に数学・統計学や実習を含む物理・化学・生物学が加わり、毎日大変忙しいスケジュールが続きました。これら一般教養科目は高校のレベルをはるかに超えるものであり、かつ必ずしも将来の医学専門教育の準備教育としてのものでなく、純粋に一般教養科目として独自性を持っていたように思われました。その中で例えば、社会学の講義の中で紹介されたルーズ・ベネディクトの「菊と刀」は何度も熟読しました。キリスト教を背景とする罪の欧米文化と恥の日本文化の違いには特に深い興味を持ちました。医学部に入学して、私は早く専門を学びたいという気持ちはありましたが、教養の2年間は、より広く人間性を養う期間であり、大学が用意してくれた一般教養科目は専門とは切り離して十分楽しむことができました。専門に入ってからには、やっと専門の医学が学べる喜びで各科の日本語の成



中央が山本さん

### 何か夢中になれるものを

松岡キャンパス学務室 山本恭弘さん

高校時代には全国高校駅伝、大学職員となつてからは福井県代表として陸上の全日本大会で頑張ってきました。今でも仕事後に20キロ以上走り込むことがあります。マラソンを通じ、福井で、北陸で、全国で一番になる厳しさを味わってきました。マラソンはいつでもどこでも誰とでも練習ができるので、職場の方や、様々な職種の方達と仲間になれ、人づきあいの輪が広がるのが楽しいですね。学生の皆さんには、学生時代に何か夢中になれるものを見つけて欲しいです。夢を持って取り組めば、きっと自分を成長させることができると思います。常に夢を持ち、追いつけて欲しいですね。

厳しくも楽しい時間

マナビ 13



### 囲碁に学ぶ人の生き方

大学院工学研究科 機械工学専攻 准教授 永井二郎先生

盤面からそのヒントを知る

碁盤には、361の点しかありませんが、その打ち方はパターンがありすぎて、同じように進行することはまずありません。正解が分からない中で進めていく面白さがあります。また、打つ人の生き方、考え方、人柄が盤面に表れます。普段、見えていない性格や考え方が盤面には隠しきれず、どうしても出てしまつたのだと思います。人の生き様、ストーリーがあつてせめぎあう、それが囲碁の醍醐味です。高3の時に新聞で見た趙治勲のプロ名人戦に感激し、生きる元気をもらいました。「頑張る」とはこういうことかとか心に強く響いたのを忘れません。不思議なことに心が穏やかな時ほど勝てるのです。うまくやろうとしたり、欲張りたりするとうまくいかず、自然体でゆつたり過ごすと良い方向に向かいます。これは仕事や私生活にも通じることで、気持ちの持ち方の勉強になっていきます。

### アイデアをカタチに!

マナビ 14



学生サービス課 玉村順江さん

柔軟な発想を

写真を撮るのが好きで、自分が見て綺麗と思う瞬間を残したい、誰かに伝えたいと思ひ、学内でもよく撮影します。見慣れた場所でも感じ方が変わり、意外な発見をして、まるで宝探しのようです。服やアクセサリーなども手作りします。これは作るのが得意で始めたのではなく、欲しいものが売っていない、ならば自分で作ってしまおう!という発想からです。自分の思い描くものが形になっていく楽しさがあります。やりたいことは試してみるといいですね。最初から満足いく出来にならなくても、ある程度形になると自信がつかます。職場では、便利だなと思つたものを形にする実行力を生かし、先生方の研究室の配置図を作成しました。学生サービスクのなんでも相談窓口では大いに役立っています!



学生時代

書(※)一冊を必ず熟読することを実行しました。特に内科は内科学大系全53冊を少なくとも1回は熟読しました。また洋書ではギャングの生理学、ホワイの生化学、セシルの内科学、ネルソンの小児科学等を並行して読みました。これらの成書には講義を聴きながらノートがわりに重要事項を書き込むものにも使い、私にとつての宝物となりました。4回生以降卒業まで出入りさせて頂いた病理学教室では先生方の研究の手伝いの他、病理解剖の記録係をやり、病理標本の作製から顕微鏡写真を入れたケースレポートの作製までやらせて頂き、多くの症例について実践的知識と病気の性質の理解の修得に大いに役に立ちました。特にガン末期の患者さんに共通してみられた心筋や肝細胞の断裂等の所見は後に研究者になつてからの癌悪液質の研究の基礎になりました。このように振り返ると、大学の学部教育は教養教育と専門教育とがそれぞれ独立した特色をもち、人間性の涵養と専門知識の獲得の目的もと一体化することが大切であると思われまふ。

(\*)：医学分野における本教科書のことをさして成書という。内容が充実しており幅広い知識を体系的に解説していたり、高度・専門的な内容にまで言及する懐の広さを備え、またその内容は信頼性を十分備えた権威あるものや世界スタンダードであることが求められる。



## 「脳科学」で子どもたちの道を拓く

最近、テレビなどでよく取り上げられている「脳」と「こころ」。福井大学でも、教育地域科学部の三橋先生と医学部の中井先生を中心に、3学部共同で「子どもの脳とこころの発達」研究を進めてきました。

教育地域科学部の三橋先生は、認知神経心理学・障害児心理学の立場から、ヒトが外界情報を認識する過程（認知機能）と、「脳」との関係について調べ、教育や医療・福祉にどう活かしていくかということの研究をしています。

医学部の中井先生は、小児科医・臨床発達心理士として子どもの「こころ」の発達や問題について、診療や治療、脳機能イメージング研究に携わり、養育者を含めた環境との相互作用に注目した研究、さらに、発達障害の評価尺度の国際共同研究に取り組んでいます。

現在、「脳機能ネットワークの形成・発達の解明とその活用」研究プロジェクトの「ヒトにおける機能・能力発達の科学的知見に基づく教育・障害児療育法の開発研究」として地域・社会貢献を目指し共同研究に取り組むお二人に話を伺いました。



脳トレキッズの様子



教育地域科学部発達科学講座 三橋美典 先生

### 脳科学を教育支援に

#### 研究について

乳幼児から成人までの広い年齢層を対象に、単語を憶える、表情を識別する、パズルを解くなどの課題場面で脳の活動を測定し、「こころ」と脳の関係調べ、「発達障害」を中心とした様々な心身障害の原因や診断・支援方法について研究しています。「特定の学習が極端に苦手」「人の関わりが上手くできない」「注意散漫でキレやすい」などの症状を持つ発達障害は、いわゆるノイローゼやうつ病などの「こころ」の悩みや病気、不登校やいじめの問題とともに、近年の学校現場で大きな課題となっています。これらは医学的には「精神障害」に分類されますが、その本質は認知機能を中心とした「こころ」と脳の発達の障害や歪みであり、先天的な要因と後天的な環境要因の両方が関係するといえます。そのため、適切な支援を行うには、脳と行動の両面から症状の原因をとらえることが大切で、その診断方法や教育・支援方法の開発に取り組んでいます。

#### 支援システムの構築のために

「こころ」の発達に障害や歪みを持つ子どもを早く見つけ、適切な相談や支援を行う。これを実行するには教育現場だけでは困難で、医療・福祉機関や行政、そして家庭間で相互に情報を共有し、連携する体制が必要で、このため、医学部・工学部や研究員と共同で「子ども見守りシステム」を開発し、日々の学校や家庭における子どもの様子を担任と



たんぼほ教室で

保護者が携帯電話のメールで発信、その履歴をデータベース化し、相談・支援に活用する試みを行っています。子ども時代に症状がなくても大人になってから問題を抱える人もいますので、長期にわたる行動履歴を保存しておくことは病院での診断やその後の対応においても大変有効と考えられます。また、研究やシステム開発の一方で、発達障害児者の学習や社会的自立を援助する「たんぼほ教室」や、脳科学を体験してもらう「脳トレキッズ」事業にも取り組んでいます。

「今やこころの問題は教育と工学的な解析、医学との連携は不可欠となっています。福井大学には幸い教・医・工と3つの学部がありますから共同で研究することでこれからの支援に寄与することができれば」と話されていました。



医学部医学科病態制御医学講座 小児科学 中井昭夫 先生

### 福井から世界へ発信する

#### 研究について

医学部附属病院で発達障害や不登校・心身症など子ども「こころ」についての診療、AD/HD、うつ等の治療を行うとともに、PET、機能的MRI、光トポグラフィなど脳イメージング研究に携わってきました。近年、これら特殊・大型装置を用いた、短時間での脳内の反応だけでは「こころ」の研究は不十分という世界的な反省から、脳イメージング研究に裏打ちされた、社会実装可能な行動計測方法の開発の重要性が指摘されています。現在、発達障害での不器用さや感覚の問題、子どもの「こころ」と「からだ」の関連など身体性の機能障害について関心が高まり、これらを定量的に計測する方法の開発を行っています。さらに、子どもの「脳」と「こころ」の発達を考える際、子ども自身の発達、またこれらの相互作用を考えると重要なことです。これらの観点から、「絵本」を通じた相互作用を最新の視線検出器を用いて検討を行い、養育者や子どもに関する職業人との関わりが赤ちゃんからの「脳」と「こころ」の発達にどのような影響を与えるかについて、福井県内の大学と連携しながら研究しています。

#### Think Globally, Act Locally & Think Locally, Act Globally

また、カナダ、オランダ、英国との国際共同研究として、「発達障害」の家庭や園・学校での「困り感」への気づきから、支援に結び付ける国際的評価尺度の開発にも取り組んでいます。これらの研究をとおして得られた成果を医療だけでなく、子育て・保育・教育方法の開発に活かしていきたいと考えています。赤ちゃんからは、「子どものこころ」の発達研究を社会全体で推進していくためには、地域・社会、保育・教育現場、患者さんである子どもやその保護者との協力は欠かせません。中井先生は脳科学の解明と連携しながら、大学病院の中だけでなく、NPO活動などを通じ、実際の患者さんやその家族、また地域の協力を得て双方向での研究を進めています。



「当事者や、現場からの疑問・要望について研究を進め、またその成果を還元する。地域と協働し、福井から世界に情報発信していければ」と話されていました。



国際発達性協調運動障害学会にて共同研究を行う先生方と

## クラゲコラーゲンの有効利用



産学官連携本部研究員 柳原佳奈 さん

日本生物工学会セルプロセッシング計測評価研究部会主催「第2回若手研究員シンポジウム」(次世代を担う生物工学技術)ポスターセッション 研究奨励賞受賞 受賞題目

### 「非哺乳動物由来因子を用いた、再生医療のための細胞培養技術の開発」

再生医療は世界市場でおよそ

10兆円と推定されており、今後の研究成果が期待されている分野です。廃棄物の有効利用というところから、大量発生で問題視されている大型クラゲに着目し、クラゲから取り出したコラーゲンを再生医療に利用していきたいと考えています。研究は、福井県内の企業である日華化学株式会社と福井大学との共同で進めています。

生体内において、細胞は、増殖や機能向上のために、土台となる「足場」としてコラーゲンなどの因子を必要とします。体外培養では、哺乳動物由来のコラーゲンを用いることが多いのですが、これらは人畜共通感染症の懸念

があり、再生医療での利用のためにも代替因子が求められてきました。クラゲコラーゲンは哺乳動物由来のコラーゲンとは違い、人畜共通感染症の懸念が無く安全、また廃棄物なので安価であるなど多くの利点があります。そこでクラゲコラーゲンを使って、すい臓細胞を培養したところ、哺乳動物由来コラーゲン使用時の2倍までインスリン分泌能が向上しました。

さらに、今回の研究で、クラゲコラーゲンは、再生医療への応用が期待されている骨髄由来の幹細胞に対してその細胞を増殖させるステージと、骨細胞や軟

骨細胞などの細胞に分化させるステージの両方で有効であることが分かりました。今後は、若狭湾エネルギー研究センターと共同研究を進め、イオンビームを使ってクラゲコラーゲンからなる機能性足場材料を構築していく予定です。実際に医療の現場でクラゲコラーゲンが利用されるように研究を続けていきたいと思っています。

#### 福井大学生のみなさんへ

私は、学部生から博士課程を終えるまで、福井大学で学びました。その後、京都大学再生医科学研究所やアメリカで研究を続け、2009年10月より再び福

井大学に戻ってきました。福井大学卒業生として、学生のみなさんには、自分のやりたいことをあきらめず、地道に続けることで目標を達成してほしいと思います。また、挑戦するときは長いスパンで計画して、ひとつずつ身近なところから取り組むと目標により近づくことができます。と思っています。





## 運営費交付金削減は大学存続の危機！

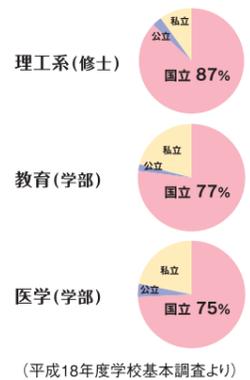
2004年に国立大学が法人化された後、国立大学法人の運営の大半は税金即ち国からの運営費交付金（教職員の人事費や物件費等の大学運営を行う上での必要経費）に頼っています。福井大学でも収入の70%は運営費交付金であり、平成21年度の総額は、病院を除き約93億円です。しかし、2005年度からは運営費交付金は毎年1%ずつ削減され、福井大学はこれまでに、総額11億円削減されました。

今回大きな問題となっているのは、2011年から3年間毎年運営費交付金が10%ずつ削減される可能性が出てきたことです。福井大学では、毎年10億円、3年間で30億円の減額の危険性があることになりました。福井大学で、もし10%を学生の授業料にのみ転嫁すると、1人当たり年間27万円の増額となります。これはとても受け入れ難い額であり、世界的に見ても家庭負担の高い高等教育費を更に増額させるものであり、教育の機会均等の役割を担う国立大学としては、断じて許されるものではありません。

ではもし削減が実施された場合、大学のすべき方法はあるのでしょうか。どのようシミュレーションを行ってみても、まず大学の機能の大半は失われ、「脳死」状態となるのが確実です。これを阻止するために大学として、県選出の国会議員、知事、経済界等に協力を要請すると共に、北陸4国立大学長の共同声明を発してきました。また、9月20日に、県内4ヶ所で街頭署名活動を行いました。

日本の国立大学は理工学部、教育学部、及び医学部の大半を担い、国際学術論文の7割以上を生み出し、「イノベーションの創出」「科学技術立国」の維持に中心的役割を

### 三大都市圏以外の道県における状況



学長 福田 優

私は今、プリウスに代表される、トヨタが開発するハイブリッド自動車のモーター制御システムに関する仕事をしています。以前は、制御仕様の開発や制御用ソフトウェアの設計などを行っていましたが、現在は、それらの開発をスムーズに進めるための効率的で質の高い手順を整備する仕事を任されています。基本的に少人数のチームで仕事を進めていくので、チーム内での円滑な意思の疎通が非常に重要です。そのた

## 卒業生リレーメッセージ

## Futurist ~未来人~

自分のやりたいことがある人は強いです。



平成7年度  
工学部情報工学科卒業  
トヨタテクニカルディベロップメント株式会社勤務  
齋藤佳彦さん

### やる気を持続させる やりがいに満ちた仕事

それまでの大変さは一気に吹き飛ばすくらい嬉しく、また頑張ろうという気持ちが出てきます。成果が目に見えるという点では、非常にやりがいを感じられる仕事だと思います。

### 本当に勉強しない学生でした

大きいかもかもしれませんが、私は今、好きなことを仕事にできて幸せだと思っています。というのも、大学時代は自分が将来何をしたいのかまったく分からず、常に自問自答をくり返していました。福井大学の工学部情報工学科に進んだのも、ちょうどイ



大学時代の楽しかった思い出のひとつでもある大学祭。写真中央には、おかまコンテストに出場した女装姿の友人が…。



軟式テニスサークルの仲間と一緒に、2泊3日で長野県の斑尾高原へ合宿に。冬にはみんなでスキー旅行にも出かけ、仲間の存在なしでは大学生活は語れない。

め、自分がコレだ！と思った意見を同僚や上司に同意してもらおうとまでが難しく、入社6年目の今でも自分のコミュニケーション能力の未熟さを日々痛感しています。その反面、自分が関わった車や街で見かけたりすると、

インターネットが普及する少し前のことで、これからは情報系だろうと、ただ漠然とした考えからでした。大きい声では言えませんが、勉強よりも遊びに勤しんでいましたね。今思えば、興味深い授業がたくさんありましたから、あの時のあの授業をもっとまじめに取り組んでおけばよかったという気持ちには否めません。今の私が福大生になっただけなら真面目で優秀な学生になっていたでしょうね。

### 働いて初めてやりたいことが明確に

卒業後はやりたいことが見つからないまま、今の会社ではなくソフト開発会社に就職しました。有難いことに、そこではコインパーキングシステムやパチンコの売上管理システムなど、多岐にわたる業種においてシステム開発に携わるといった経験を積むことができました。その中で出会ったのが、車に搭載する



私の反省を皆さんの大学生活に役立ててくれればと思います。

## 役員・学部長コラム Fu's Voice

### 引き算で思い出そう 皆さんの学生時代の貴重さを

理事(経営) 大学改革担当・事務局長 高梨桂治



皆さん、こんにちは。自己紹介の代わりに、福大に来る前までの私の軌跡をご紹介しますと、単純にアインシュタインに憧れて大学は理系に入学しました。自分が社会により関心がある(物理学者になる才能と意欲は薄い)と思えば、就職活動時期には再び悩み、仲間と学んだ経済学で受けた公務員試験に運よく受かり、しかし経済官庁には進まず文部省(現在の文部科学省)に就職。文部省でも悩み続け、結局2度の留学で、退職。何とかPh.D.(博士号)を取得したけれど、学者になるほど経済学を愛していないことを自覚し、アメリカの会社にかろうじて就職。

よくぞ人生これだけ紆余曲折をと我ながら思いますが、こんな道草だらけの経験も踏まえ、私は、文京キャンパスでの「大学教育入門セミナー」で、学生時代がいかに貴重かをお話しています。特に、大学卒業後には一日24時間から通勤・仕事の時間(皆さんの保護者も10〜12時間はサラ、中には16時間の方も!)、睡眠時間と引き算をしていくと、あっという間に24時間がなくなってしまうことで、学生時代の貴重さを確認してもらっています。文京の皆さん、思い出してくれましたか?(松岡の学生の皆さんにはお話をする機会がなく、ゴメンナサイ。)また、見つからなくてもいいのだけれど(お勧めしませんが私のような例もあります)、この貴重な学生時代に頭と心と体をフルに使って人生で本当にやりたいことが見つかるというですねと、お話しています。

入門セミナーの後、皆さんと話をする機会がないので、このコラムを借りて、改めてフォローアップです。学生時代の時間は本当に貴重ですよ。充実した時間を過ごしても、流して過ごしても、どちらにしても、あなたの貴重な人生の時間が過ぎていきます。願わくは、燃焼度の高い学生時代を過ごされたい!...道草だらけ人生の一先輩より。